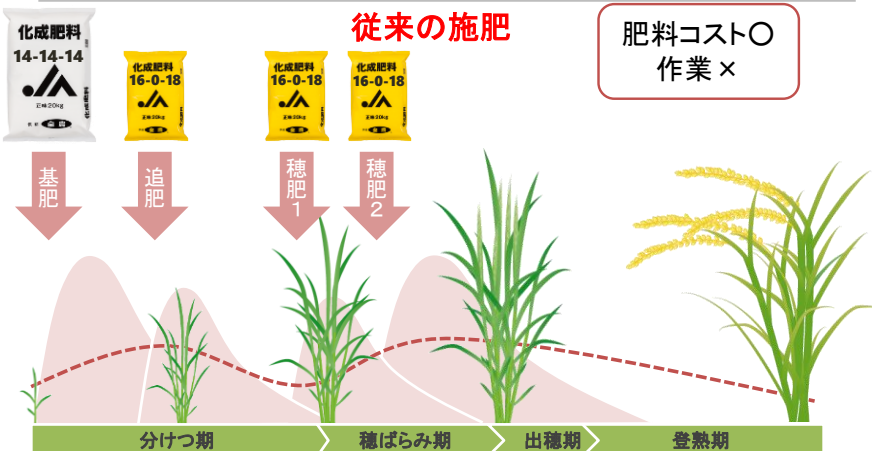


- 速効性肥料や有機質肥料に肥効調節型肥料(被覆肥料等)をブレンドした肥料
- 肥効が長期間持続するため追肥作業の軽労化を実現
- 水稻用で普及が進んでおり、品種、直播など栽培様式により多様な銘柄が展開

肥効調節型肥料による全量基肥栽培



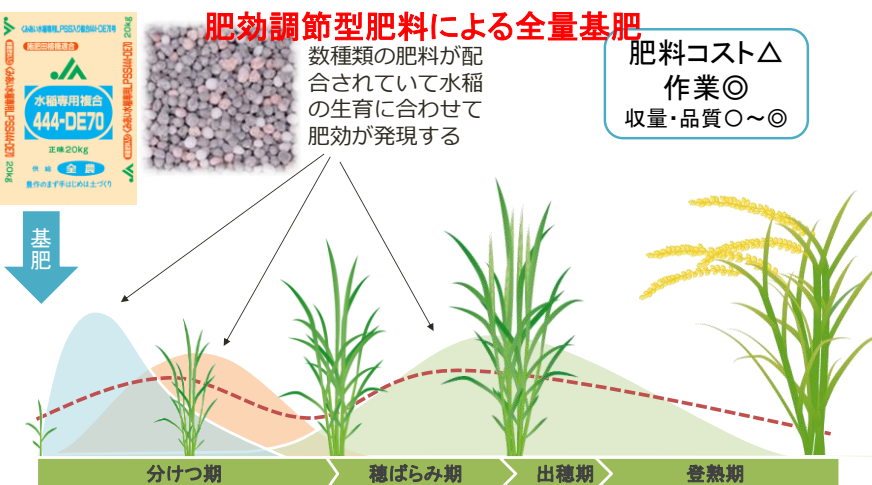
このような生産者にお奨め！
～肥効調節型肥料入り銘柄のメリット～

1. 施肥作業が大幅に省力化される。
2. 被覆肥料を利用すると、肥料の利用率が高まるので**減肥が可能**となる。
3. 生産安定化が期待できる。



被覆殻の圃場からの流出防止対策は必須です

被覆肥料は原料としてプラスチック(樹脂)が使用されており、被膜殻が水田外に流出する可能性が示唆されています。本会では肥料業界団体とともに被膜殻の流出抑制を呼びかけるとともに、流出防止ネットの設置や浅水代掻きの実施、流出しにくい被覆肥料の活用などを進めています。



被覆肥料のプラスチック殻の流出防止に効果がある流出防止ネット(左)、浅水代かき(中)、無落水田植えが可能な直進アシスト田植機(右)